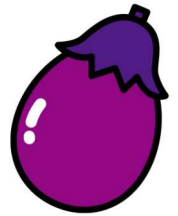


宮大附属中に高校生と大学生が集結

探究の空間が生まれた!!

ナスビの学校



8月29日(木)宮大附属中3年生の総合的な学習の時間に、探究アドバイザーとして高校生、大学生、大学院生が参加してくれました。

熱気あふれる探究空間

宮崎大宮高等学校文科情報科の高校生、宮崎大学地域資源創成学部の大学生、宮崎大学教職大学院の大学院生が集う空間に、探究活動に取り組み3年生が訪れ、自分の研究を説明しつつ、アドバイスをもらう。そんな空間が、本校の被服室に出来上がりました。

探究活動を充実したものにしたいためには、いかに自分以外の視点を取り込めるかが大切です。その意味で、たくさんの人に自分の研究を聞いてもらい、様々な角度からのフィードバックをもらう必要があります。できることなら、同じ中学生同士はもちろん、自分たちの人生の先輩でもある上級学校のみならず、フィードバックをもらう。そうすることで、探究活動が充実していくことはもちろん、



先輩たちとの出会いを通じて、自分自身のキャリアや進路を考えるきっかけにしてほしい。そんなねらいのもと、今回の取組が実現

しました。探究アドバイザーとして参加してくれた高校生、大学生、大学院生からのフィードバックによって、自分の探究活動に自信をつけたり、考え直すきっかけをもらったりする中学生の姿がありました。

また、アドバイザーのみなさんからは「自分の考えをしっかりと持っている」「素直に聞く姿勢があった」「自己分析ができていた」など、中学生の良かったところをたくさん教えてもらいました。

学校や教室という、毎日過ごす空間に、高校生、

大学生、大学院生が加わることで、その場が一気に「探究空間」へと変貌します。社会に出て仕事をすれば、「同級生だけの集団」は非常に珍しく、「異年齢の、多様な人たちの集団」の方が一般的でしょう。探究活動を通じて、異年齢の人たちと協働する経験を積んでおくことは、中学生にとっても貴重な学びになる可能性があります。

高校生、大学生、大学院生と過ごした「探究空間」での学びが、研究成果として、どのような形で身を結ぶのか、楽しみにしたいものです。

なお、10月4日(金)には、第3学年の生徒全員が参加する「研究発表会」を開催します。3年生の保護者のみなさまはもちろん、1年生、2年生の保護者のみなさまもぜひご参観ください。

発表会では、様々な分野で活躍されている方々を講師としてお迎えし、生徒たちが「将来やってみたい仕事をインベーションした研究成果」を発表します。

「自分の強みは何なのか」「自分は将来、どういう生き方がしたいのか」「どんな人たちのために仕事ができるのか」等、中学生が自分自身やこれからの社会、そして、自分のこれからのキャリアについて考え抜いた成果を、ぜひごらんください。発表会については文書でもご案内いたします。

第3学年 総合的な学習の時間
「君たちは宮崎のためにどう生きるか」
研究発表会

令和元年10月4日(金)
13:30-16:20

宮崎大学教育学部附属中学校 各教室



草抜きに熱中

先日、ある幼稚園の奉仕活動に参加しました。割り当てられたのは幼稚園の裏庭でした。そこには地面いっぱいには広がった雑草たち。これを全部抜くのか。大仕事になるな」と思いました。一緒に参加したみなさんと一緒に草抜きをしていると、園長先生が通りかかりました。「ここには毎年、子どもたちがイモを植えるのですよ。収穫をしたあとは家に持って帰って食べるんです。」それを聞いた私たちは目の色を変えて草抜きに熱中したのでした。

「自分たちの草抜きの質が、子どもたちが収穫するときのイモに影響を与えることになるのだ。そうであるならば、がんばるしかないぞ!」

あの日、幼稚園の裏庭は、モチベーション3.0(やりたいたいががんばる/誰かのためにがんばる)が充満した空間でした。

いつか収穫されるイモの品質は保証できませんが、「仕事をやるってこういうことだよなあ」「こういうモチベーションがもてる探究活動を実現したいなあ」と思った、日曜日の爽やかな朝でした。